



## (ウ) 取組の内容

|      |          |
|------|----------|
| 事業名  | ウォーキング振興 |
| 事業開始 | 平成22年度   |

|      | 平成28年度                            | 平成27年度                       |
|------|-----------------------------------|------------------------------|
| 予 算  | 71千円<br>・各種消耗品 13千円<br>・特典関係 58千円 | 特典関係 54千円ほか<br>※旧健康政策課所管     |
| 実施回数 | 34回                               | 31回                          |
| 参加人数 | 6,028人                            | 4,633人                       |
| 期 間  | 平成28年4月～平成29年3月                   | 平成27年4月～平成28年3月              |
| 実施体制 | 地区行政センター、地区体育協会、ウォーキング実施団体など      | 地区行政センター、地区体育協会、ウォーキング実施団体など |

### ① ウォーキングコースの提供

地区ごとにウォーキングコースを設定しており、ホームページからいつでも確認できるようにしています。

### ② スゴ足手帳の作成

歩いた距離やスゴ足イベントの参加状況などを管理できるよう手帳を作成し、配布しています。

### ③ インセンティブの設定

飯能新緑ツーデーマーチの参加招待券や市内企業から特典を提供してもらい、6回数以上の参加で申請のあった方に各種特典を差し上げています。

### ④ 参加しやすい環境の整備

地区行政センターを中心に各地区にてスゴ足イベントを実施することで、参加するイベントの選択肢が多くなるようにしている。

## (エ) 取組の効果

### ① 生活習慣病の予防効果

日常的に軽度な運動をすることで、生活習慣病の予防効果があると考えられる。

### ② 医療費の適正化

生活習慣病の予防により医療費の適正化が図れる。

## (オ) 成功の要因、創意工夫した点

### ① 各地区の特色を生かしたウオーキング

地区行政センターや関係団体等、各地区の団体が実施することで、地域の特色を生かしたウオーキング事業となっている。

### ② インセンティブの設定

インセンティブを設定することで参加意欲、運動習慣の継続意欲を促進し、また、民間企業からインセンティブの提供してもらうことで、民間企業との協働による健康づくりを推進することができている。

## (カ) 課題、今後の取組

### ① 働く世代や子育て世代の参加促進

現在は、高齢世代の参加者が中心となっているが、仕事や子育てなど健康づくりに取り組むことが出来ていない世代の参加者を増やしていきたい。

### ② 医療費の抑制効果が見えにくい

国民健康保険を所管する部署との連携をさらに図り、本事業の効果について検証していくようにしたい。